

ハチ博士の ミツバチコラム

3



京都学園大学
バイオ環境学部
坂本文夫教授

「秋の七草」

ミツバチの蜜源

春の七草はおかゆにして食べるものですが、秋の七草はその花々を愛でるものです。ミツバチは秋の七草をどのように見ているのでしょうか。文献やネットの情報と自分の観察を総合すると、ミツバチは秋の七草が好きなのです。まず、ハギ、クズ、キキョウそしてオミナエシには頻繁に訪花します。ナデシコやフジバカマにはそれ程頻繁ではないようで、理由は分かりま

せんが、開花の時期に周囲により魅力的な花が多いからではないかと思えます。最後に、ススキですが、私はススキの小さな花にニホンミツバチが訪花しているのを見たことがあります。確か、イネと同じ風媒花なのになぜミツバチがいるのだろうと不思議に思ったのですが、ススキの場合は花粉集めが目的のようです。

レンゲ、アカシアそしてシロツメグサのようにメジャーな蜜源植

物ではありませんが、秋の七草はミツバチにとって大事な花であるのは間違いありません。特に、ハギやオミナエシのように小さな花にはセイヨウミツバチよりニホンミツバチが好んで訪花します。今度、秋の七草の花が咲いている場所に行ったら、ニホンミツバチが来ていないか探してみてください。



イラスト
バイオ環境学部 4回生
林利樹さん